

佳作

ありのままでいること。

青森県むつ市立むつ中学校

3年 田嶋 花音

これが私。この世界は偏見や誤解であふれている。人を見ただけで判断して傷つけたり、無視したり。みなさんは「This is Me」という曲を知っていますか。「This is Me」とはミュージカル「グレイテスト・ショーマン」の劇中歌。私はこの曲を初めて聴いたときとても感動しました。歌唱力に圧倒されて私は歌詞の意味を調べました。この曲にはありのままの自分を肯定し、自分自身を誇りに思うという意味が込められています。世の中の多くの人が自分自身を否定したり、他人に合わせようとしたりする中で、ありのままの自分を愛する大切さを教えてくれた曲。この曲は最初“I’m not a stranger to the dark”（私は暗闇を知っている）という歌詞からはじまります。このようにネガティブな歌詞からはじまるのですが、だんだんと自分に自信がついていくようすを表現しています。

私は自分に自信がないです。よく「自分に自信をもって！」というけれど、そんな簡単に自信をつけられるわけではないし、どうしたら自分に自信をもてるのかわからない。今でもそうです。どんな人でも多かれ少なかれコンプレックスはあると思います。それを気にせず、人前で堂々と見せて凜とすることがどれだけ大変か。

この曲を歌ったキアラ・セトルは「グレイテスト・ショーマン」の中ではヒゲの生えた女性として出演します。コンプレックスをもっていてまわりから「消えろ。誰もお前なんて愛さない。」など否定的なことを言われて生きていました。ですがオンリーワンの個性をもつ人々を集めたサーカスに参加し、自分自身を愛し、受け入れること、世間から認められなくても、自分を大切にすることを決意し、堂々と踊ることができました。

私は自分に自信がないと言いました。小さい頃から人見知りで、家族や親しい友達以外の前ではなかなか自分の気持ちを表現することが苦手です。意見をもっていても発言しようかどうか迷っているうちに時間が過ぎてしまったり、チャンスを逃がしてしまうこともありました。良く言えば計画的に考えてから行動をする慎重派、悪く言えば失敗を恐れて行動しない人。他人と同じ行動をしていないと心配です。人と違うことが、間違えることが怖いのです。また、他の人にどう思われているかも気になります。「これを言ったら嫌な気分にするかも」「この行動をしたら目立ちたがりと思われるかも」と考えるとどうしても

行動できない時があります。

なぜ、みんなと同じが良いと思うのでしょうか。

なぜ、人と違うことを恐れるのでしょうか。

なぜ、自分と同じ考えでないと認めようとしないのでしょうか。

なぜ、自分の思い通りにならないと怒ったり、無視をしたり、攻撃をするのでしょうか。

たくさんの人の中で生活していると嫌なことを経験したり悩んだりしたことがみなさんにもあると思います。だからこそ、人それぞれ、個性を認め合う必要があるのですが、勇気を出すことはなかなか難しいです。みんなに優しくすることは簡単ではありません。

人生は一度きり。後悔ばかりするよりも、失敗を恐れずに積極的に行動できたらいいなと思います。もしかしたら、私と同じような考えや性格の人が他にもいるかもしれません。でもあと一歩踏み出してみましょう！

私には夢があります。私の個性を発揮できる場所、私が輝ける場所があります。そのことについて挫折したり悩んだりすることもあるけれど、また立ち上がって挑戦することができます。今なにかやりたいことがあるけれどコンプレックスがあってできない人や諦めている人、勇気を出して一歩踏み出すと絶対に変化があらわれます。すぐには認めてもらえなくても、いつか誰かが、どこかできっと見ていてくれるはず。勇気を出すことを諦めなければ、チャンスはきっと訪れる。だから私も、これからは苦手なことにも怖がらずに挑戦してみようと思います。後から「やってみればよかった」「言っておけばよかった」と後悔をしないように。そしてこれからの自信につなげられるように。「これが私！」と自信をもって言えるように。

勇気がある。傷もある。ありのままにいる。これが私。

I am brave, I am bruised. I am who I'm meant to be, this is me.